

仙台高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	建築構造力学Ⅳ		
科目基礎情報							
科目番号	0049		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	建築デザインコース		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	検定教科書「建築構造」実教出版						
担当教員	吉野 裕貴						
到達目標							
力の釣り合いをしっかりと理解し、それをもとに各種骨組の応力計算ができるようになること。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
はりの応力	節点の釣り合いからはりの応力を計算できる		たわみ角法の基本式をつかうことができる		たわみ角法の意味がわからない		
ラーメンの応力	節点移動がある場合の応力がわかる		節点移動がない場合の応力がわかる		基本式を使うことができない		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築物に外力が作用した場合の骨組各部に生ずる応力や変形を知ることは、安全な建物を設計する上で大変重要である。ここでは代表的な応力計算法である撓角法について学ぶ。						
授業の進め方・方法	板書により、基本的な原理を説明と具体的な構造物の解法を解説する。 予習：教科書を眺める 復習：演習をもう一度解く						
注意点	社会生活の中で建築物の安全性について常に関心をもつこと。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	撓角法概説	撓角法の概要について理解する。			
		2週	材端応力および部材変形の記号	解法基本式の応力、変形の記号について理解する。			
		3週	部材の変形と材端応力との関係式	材端応力と部材変形との関係を学習する。			
		4週	ラーメンの変形に関する条件式	骨組各部の変形適合条件について理解する。			
		5週	力の釣り合い方程式（節点方程式）	節点における力の釣り合いを方程式で表現できる。			
		6週	連続ばりの解法例	演習を通して連続ばりの例を学習する。			
		7週	連続ばりの解法例	演習を通して連続ばりの例を学習する。			
		8週	中間試験	理解度の確認			
	2ndQ	9週	節点が移動しないラーメンの解法例	演習を通して節点が移動しない例を学習する。			
		10週	節点が移動しないラーメンの解法例	演習を通して節点が移動しない例を学習する。			
		11週	力の釣り合い方程式（剪力方程式）	力の釣り合いから剪力方程式を求める。			
		12週	節点が移動するラーメンの解法例	演習を通して節点が移動する例を学習する。			
		13週	節点が移動するラーメンの解法例	演習を通して節点が移動する例を学習する。			
		14週	節点が移動するラーメンの解法例	演習を通して節点が移動する例を学習する。			
		15週	期末試験	理解度の確認			
		16週	答案の返却	解答の解説			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	100	0	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0